

仕 様 書

1. 件 名

令和7年度野生動物試料の凍結保存作業及び検疫作業に関する派遣業務

2. 目 的

国立研究開発法人国立環境研究所（以下「NIES」という。）の研究課題、「絶滅のおそれのある野生動物種を対象とする遺伝資源保存」及び「自然共生研究プログラム PJ2 生物多様性および人間社会を脅かす生態学的リスク要因の管理に関する研究」において、感染症、化学物質等の野生動物への影響評価に関する研究、遺伝学的研究（PCR、電気泳動、シーケンス等）、培養細胞試料の有効活用研究（培養細胞の維持、保存等）に関連する補助作業を行う。

3. 事業所の名称

国立研究開発法人国立環境研究所（茨城県つくば市小野川16-2）

4. 勤務場所

茨城県つくば市小野川16-2

国立研究開発法人国立環境研究所

生物多様性領域 生物多様性資源保全研究推進室

電話番号 029-850-2498

なお、感染症の蔓延等による自宅就業の協力依頼があった場合等で、遠隔でも実施可能な業務についてはNIESと調整の上実施場所を変更することも可能とする。

5. 組織単位

生物多様性資源保全研究推進室(生物多様性資源保全研究推進室長)

6. 契約期間

令和7年6月2日から令和8年3月31日まで

7. 勤務形態及び員数

(1) 勤務時間 月曜日から金曜日（祝祭日及び年末年始（12月29日～1月3日）を除く。）

9：00～16：00（うち、休憩時間12時～13時）

実働6時間

指揮命令者の指示により時間外労働及び休日出勤もあり得るものとする。この場合、時間外労働は、4時間/日、45時間/月、360時間/年以内とする。また、休日における労働は同一週内の勤務日との振替を原則とするが、振り替えられない場合の休日労働は2日/月の範囲内とする。

(2) 員 数 1名

8. 責任の程度

(1) 役職名

なし

(2) 具体的責任の内容

担当業務の遂行責任のみ

9. 派遣労働者を協定対象労働者に限定するか否かの別

限定しない。

10. 派遣労働者を無期雇用派遣労働者又は60歳以上の者に限定するか否かの別

限定しない。

11. 業務内容等
特記仕様書によるものとする。
12. 出張の取扱い
 - (1) 出張依頼等
指揮命令者の指示により、派遣労働者を当該業務の関連で出張させた場合の費用は、翌月に精算するものとする。
なお、NIES からの支給範囲は交通費及び宿泊費（10,000円（税込）を限度）の実支出額とする。
 - (2) 就業時間の取扱い
派遣労働者の出張期間中の就業時間は、7. (1) に定める就業時間数を就業したものと取り扱うものとする。
13. 福利厚生
ロッカー、職員食堂、入館証、派遣先の施設及び設備について便宜供与する。
また、作業に必要な備品及び消耗品について便宜供与する。
14. 報告書の提出
 - (1) 勤務報告書の提出
派遣労働者は別紙1の勤務報告書に勤務時間終了毎に所要事項を記載し、指揮命令者の確認を受けるものとする。なお、月末については、確認を受けた後、派遣先責任者に提出するものとする。
 - (2) 出張経費報告書
派遣労働者は別紙2の出張経費報告書に出張期間終了毎に所要事項を記載し、指揮命令者の確認を受け、派遣先責任者に提出するものとする。
15. 勤務状況の報告
派遣先責任者は、派遣労働者から14. の提出を受けたときは、速やかに派遣元責任者へ報告するものとする。
16. 業務完了報告書等の提出
派遣元責任者は、15. の報告を受けたときは、速やかに業務完了報告書及び派遣元管理台帳の写を派遣先責任者へ報告するものとする。
17. 検査
指揮命令者の確認を受けた14. に定める報告書及び派遣元責任者から提出のあった16. に定める報告書等により行うものとする。
18. 当該業務に係る責任者及び指揮命令者
 - (1) 派遣元責任者
役 職
氏 名
電話番号
 - (2) 派遣元苦情処理担当者
役 職
氏 名
電話番号
 - (3) 派遣先責任者
役 職 国立研究開発法人国立環境研究所総務部人事課長
氏 名 志太 健一
電話番号 029-850-2586
 - (4) 指揮命令者
役 職 国立研究開発法人国立環境研究所 生物多様性領域
生物多様性資源保全研究推進室室長

氏名 大沼 学
電話番号 029-850-2498
(5) 派遣先苦情処理担当者
役職 国立研究開発法人国立環境研究所 生物多様性領域
生物多様性資源保全研究推進室 主幹研究員
氏名 田辺 雄彦
電話番号 029-850-2163

19. その他

本仕様書に定めのない事項又は業務内容の変更等については、必要に応じて派遣元会社と指揮命令者が協議のうえ定めるものとする。

特記仕様書

1. 件名

令和7年度野生動物試料の凍結保存作業及び検疫作業に関する派遣業務

2. 目的

国立研究開発法人国立環境研究所（以下「NIES」という。）の研究課題、「絶滅のおそれのある野生動物種を対象とする遺伝資源保存」及び「自然共生研究プログラム PJ2 生物多様性および人間社会を脅かす生態学的リスク要因の管理に関する研究」において、感染症、化学物質等の野生動物への影響評価に関する研究、遺伝学的研究（PCR、電気泳動、シーケンス等）、培養細胞試料の有効活用研究（培養細胞の維持、保存等）に関連する補助作業を行う。

3. 業務内容

RI・遺伝子工学実験棟、環境試料タイムカプセル棟及び野生動物検疫施設において以下の業務を行う。

- (1) 当該施設における事務支援業務(荷物受け取り、発送、発注等)
- (2) 野生動物試料のデータ管理(個人情報登録、試料登録、検査結果登録等)
- (3) 野生動物試料の凍結保存作業に関する業務(解剖、凍結保存用チューブの準備、培養液の調整、凍結保存チューブの液体窒素への移動、データ管理等。液体窒素の取り扱いを含む)
- (4) 野生動物感染症および寄生虫検査に関する作業（試料採取、核酸抽出、遺伝子検査等）
- (5) 培養細胞の維持、管理
- (6) 分子生物学実験（PCR、電気泳動、シーケンス等。試薬類には有機溶剤を含む）
- (7) 動物由来の体液に汚染された器具の洗浄

4. 必要条件・資格等

上記3. の業務を行うために、派遣労働者は以下の条件を必ず満たしている者でなければならない。

- (1) 学歴等
獣医師資格を有すること。
- (2) 技術的能力
 - ①野生動物試料の取り扱い経験があること。
 - ②分子生物学実験の経験年数が最低3年以上あること。
 - ③動物細胞の培養、継代、凍結作業を実施した経験があること。
 - ④無菌操作、滅菌作業等に関し、自立して作業に取り組むことができること。
 - ⑤凍結保存資料管理プログラム Freezerworks を使用した経験があること。
 - ⑥電子メール、Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft PowerPoint 等を円滑に活用できるスキルを有すること。
- (3) 語学及び学術的能力
 - ①情報セキュリティに関する基礎知識を習得し、個人情報・機密事項（データ・紙媒体）等の取り扱い方を身につけていること。
 - ②業務遂行に必要な日本語での意思疎通・読み書きに支障がない者であること。

5. 機密の保持

業務遂行上知り得た情報等について、むやみに第三者に伝えてはならない。判断しかねる事態が生じた際は、必ず指揮命令者の指示を仰ぐものとする。

(別紙1)

勤務報告書

(業務名) 令和7年度野生動物試料の凍結保存作業及び検疫作業に関する派遣業務

令和 年 月分

氏名 _____

日(曜日)	勤務時間	H	休憩時間	超過勤務時間	H	業務内容等
1日()	: ~ :			: ~ :		
2日()	: ~ :			: ~ :		
3日()	: ~ :			: ~ :		
4日()	: ~ :			: ~ :		
5日()	: ~ :			: ~ :		
6日()	: ~ :			: ~ :		
7日()	: ~ :			: ~ :		
8日()	: ~ :			: ~ :		
9日()	: ~ :			: ~ :		
10日()	: ~ :			: ~ :		
11日()	: ~ :			: ~ :		
12日()	: ~ :			: ~ :		
13日()	: ~ :			: ~ :		
14日()	: ~ :			: ~ :		
15日()	: ~ :			: ~ :		
16日()	: ~ :			: ~ :		
17日()	: ~ :			: ~ :		
18日()	: ~ :			: ~ :		
19日()	: ~ :			: ~ :		
20日()	: ~ :			: ~ :		
21日()	: ~ :			: ~ :		
22日()	: ~ :			: ~ :		
23日()	: ~ :			: ~ :		
24日()	: ~ :			: ~ :		
25日()	: ~ :			: ~ :		
26日()	: ~ :			: ~ :		
27日()	: ~ :			: ~ :		
28日()	: ~ :			: ~ :		
29日()	: ~ :			: ~ :		
30日()	: ~ :			: ~ :		
31日()	: ~ :			: ~ :		
計	—		—	—		—

(特記事項)
※既存の様式が存在する場合等においては、本様式との整合性等を勘案し、協議の上で別途決定することを妨げるものではない。

指揮命令者
国立研究開発法人国立環境研究所
生物多様性領域
生物多様性資源保全研究推進室
大沼 学

(別紙2)

出張経費報告書

指揮命令者 殿			請求者	所属					氏名						
年月日	出発地	経路	到着地	宿泊地	鉄 道 賃				船 賃		航 空	車 賃		宿泊料	備 考
					路 程	運 賃	急 行	計	路 程	運 賃		路 程	実費額		
					km	円	円	円	km	円	円	km	円	円	
合 計															
出 張 用 務								旅 費 計	円				※宿泊料及びその他経費については、必ず領収書を添付すること。なお、交通費についても、原則として添付すること。		
								その他経費計	円						
								合 計	円						

注) NIESからの支給範囲は、交通費及び宿泊費（10,000円（税込）を限度）の実支出額とする。

注) 既存の様式が存在する場合等においては、本様式との整合性等を勘案し、協議の上で別途決定することを妨げるものではない。

指揮命令者
 国立研究開発法人国立環境研究所
 生物多様性領域
 生物多様性資源保全研究推進室

大沼 学 